

2016 年度オフセット印刷技術研究例会 「変わりゆく印刷技術とオフセットの未来」

近年デジタル印刷技術の進歩もあり、オフセット印刷をとりまく環境も変化してきております。その中で、オフセットの未来がどうなっていくのか、なかなか見通せないと思われる方も多いのではないのでしょうか。今回は、実際に新しい技術や動きに第一線で触れておられる先生にご講演をお願いしました。皆様のお仕事の参考になると存じます。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- 日時：2016年10月21日（金） 9：30～17：05
- 場所：富士フイルム株式会社 東京ミッドタウン本社 東京都港区赤坂9-7-3
（会場が例年と異なりますのでご留意願います。裏面に案内）
- 主催：（一社）日本印刷学会 技術委員会 オフセット印刷技術研究会
- 協賛：〔予定〕（一社）日本印刷産業連合会、（一社）日本印刷産業機械工業会、画像関連学会連合会、日本フォーム印刷工業連合会、紙パルプ技術協会

－プログラム－

- 09：30～09：35 開会の挨拶
- 09：35～10：35 **1. インキの基礎と最新動向** 春山直樹（東洋インキ株）
- 10：35～11：10 **2-1. これまでの印刷用紙、これからの印刷用紙 ～デジタル印刷と印刷用紙の変遷～**
木村篤樹（三菱製紙株）
- 11：10～11：45 **2-2. オペレーターから見た紙と印刷「紙は生きている」** 照井義行（こだま印刷株）
- 昼 食（11：45～12：45）
- 12：45～13：45 **3. drupa2016 での Landa Nanography の進化は？**
吉川武志（株小森コーポレーション）
- 13：45～14：45 **4. グラフィックデザイナーからみたオフセット印刷の過去と現在**
工藤強勝（デザイン実験室）
- 休 憩（14：45～15：00）
- 15：00～16：00 **5. 分割ドクターロール・IPC システムの導入事例**（仮題） 宗廣達男（株相互）
- 16：00～17：00 **6. 新聞用印刷完全無処理 CTP プレートの実用化**
坪井康宏（株読売新聞東京本社）
- 17：00～17：05 閉会の挨拶

定員：100名（定員になり次第締切）

参加費：会員(正会員・賛助会員)・協賛会員 10,000円、非会員 12,000円

（いずれもテキスト代を含む）、参加費は当日会場受付でお支払い願います。

申込方法：日本印刷学会のHPの参加登録受付からお申し込み下さい。

（HPがご利用になれない場合は、聴講者氏名、所属、連絡先を明記してFAXでお申し込み頂くことも可能です）

連絡先：（一社）日本印刷学会 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8

電話：03-3551-1808 FAX：03-3552-7206 E-mail：nijspst-h@jpsst.net

※お断り：事情によりプログラムまたは講師を変更する場合があります。

富士フイルム株式会社 東京ミッドタウン本社

所在地：東京都港区赤坂9丁目7番3号

電話番号：03-6271-3111（大代表）

アクセス情報：■都営大江戸線「六本木駅」と直結

- 東京メトロ日比谷線「六本木駅」より徒歩4分
- 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」より徒歩5分
- 東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」より徒歩8分

